
厚生科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業
筋萎縮性側索硬化症の病態の解明と治療に関する研究班

平成13年度 班会議プログラム

日 時 平成13年11月23日（金）
午前 9時 ～ 午後 3時

会 場 ホテル松島大観荘
宮城県宮城郡松島町字犬田10-76
電話 022-354-2161

発 表 口演 10分 / 質疑 5分

* スライドは発表の30分前までに提出して下さい

班 長 糸山 泰人
事務局 東北大学大学院医学系研究科神経科学講座神経内科学分野
980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
Tel (022) 717-7189 / Fax (022) 717-7192

9 : 0 0 主任研究者挨拶

糸山泰人

9 : 0 5 セッション1

座長 谷口直之

1. 培養脊髄ニューロンに対するNO毒性とPGE1の保護作用

北海道大学神経内科

○菊地誠志
辻 幸子

新保和賢
田代邦雄

2. FALS におけるミトコンドリア病態とカルニチンの作用解析

大阪市立大学医学部分子病態学

○井上正康

吉良幸美

3. In vivo ESRによるヒトCu/Zn SODおよびヒト変異G93A発現マウスでの
生体内フリーラジカル反応の無侵襲解析

九州大学大学院薬学研究科機能分子解析学

○内海英雄
村上君代

矢川裕子
徳本誠治

4. ALSに対するフリーラジカルスカベンジャーの臨床研究について

国立精神・神経センター国府台病院神経内科

○吉野 英

浅野敦子

1 0 : 0 5 セッション2

座長 加藤丈夫

5. 運動ニューロンに対するホスホジエステラーゼ阻害剤の保護効果

京都大学神経内科

下濱 俊 ○中溝知樹

6. 変異SOD1のdetergent-insolubilityによるプロテアソーム分解系阻害と、
選択的運動ニューロン死

理化学研究所・脳科学総合研究センター・運動系神経変性研究チーム

○漆谷 真 井上治久
月田香代子 高橋良輔

7. 孤発性ALSの全ゲノム領域を対象とした関連解析

新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科分野

中野亮一 ○福島隆男

辻 省次

国立療養所西新潟中央病院神経内科

菊川公紀

岐阜大学医学部高齢医学講座

犬塚 貴

新潟大学遺伝子実験施設

宮下哲典

桑野良三

10:50

休 憩

10:55 「教育講演」

座長 祖父江 元

「ALS 2 原因遺伝子の単離・同定と運動機能失調について」

東海大学総合医学研究所 分子神経科学部門

秦野伸二先生、池田穰衛先生

12:00

昼 食

13:00 セッション3

座長 廣川信隆

8. 培養運動ニューロンの軸索輸送に対するAMPA受容体作用とそのシグナル伝達

北里大学医学部生理学

○比留間弘美 川上 倫

9. ヒト脊髄運動ニューロンのAMPA受容体発現パターン：正常と異常の間

東京大学医学部附属病院神経内科

○郭 伸

河原行郎

孫 慧

伊藤杏子

10. Mutant SOD1と小胞体ストレス

山形大学第三内科
山形大学第二解剖

○飛沢晋介 加藤丈夫
後藤 薫

11. 神経細胞の特性とALS研究への応用の可能性

東京大学微生物学講座

○大岡静衣 野本明男

14:00 セッション4

座長 船越 洋

12. G93A/ヒト正常SOD-1FALSマウスの生化学的・臨床的検討

大阪大学神経内科

国立環境研究所

○佐古田三郎 深田 慶
中西豊文 清水 章
佐藤雅彦 遠山千春

13. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) におけるHGFの機能

大阪大学分子組織再生学

○船越 洋 中村敏一

14. ALSの遺伝子治療--SOD1 マウスでの実験--

自治医科大学神経内科

藤田保健衛生大学総合医学研究所
自治医科大学分子病態研究センター

王 立軍 Lu Yanyan
村松慎一 池口邦彦
藤本健一 ○中野今治
永津俊治
水上浩明 小澤敬也

15. 変異SOD1トランスジェニックマウスにおける病態関連発現遺伝子プロファイル解析

名古屋大学神経内科

○小林 靖 吉原 剛
山本正彦 石垣診祐
梁えきとう 丹羽淳一
竹内英之 道勇 学
祖父江 元

15:00

終 了

平成13年度 研究報告書
「筋萎縮性側索硬化症の病態の解明と治療に関する研究」班

編集者：青木正志 金森洋子
東北大学大学院医学系研究科神経内科
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
Tel 022-717-7189 / Fax 022-717-7192

印刷・製本 株式会社 東北プリント